

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
1	33	側注3	<p>③ <u>含水率は約 20%以下とする。</u></p>	<p>③ <u>JAS 製材の含水率は 20%以下, 集成材は 15%以下と規定されている。</u></p>
2	86	側注1	<p>① JIS A 5422:2019 参照。</p>	<p>①  :2024</p>
3	88	21~22	<p>(b) 各部の断熱 屋根や外周壁・床・土間には図 27 のように断熱材を設ける。 挿入</p>	<p>(b) 各部の断熱 屋根や外周壁・床・土間には図 27 のように断熱材を設ける。<u>壁と床, 壁と天井など断熱層の取合い部はすきまがでないようにする。</u></p>
4	89	表2	<p>(JIS A 9511:2017, A 9521:2017, A 9523:2016, A 9526:2015 参照)</p>	<p>(JIS A 9511:2024, A 9521:2022, A 9523:2023, A 9526:2022 参照)</p>

番号	訂正箇所		原文	訂正文																												
	ページ	行																														
5	94	表6	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>特徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フロート板ガラス・磨き板ガラス (JIS R 3202:2011)</td> <td>フロート板ガラス^①は表面が製造時のままのもので、磨きガラスは両面を磨いた高級品である。可視光線をよく透過し、紫外線領域を強く吸収する。採光透視用の窓・扉などに広く使用されている。</td> </tr> <tr> <td>網入板ガラス (JIS R 3204:2014)</td> <td>板ガラスの中に格子などの金網をはさみ込んだもの。防火・盗難防止用に使用される。</td> </tr> <tr> <td>型板ガラス (JIS R 3203:2009)</td> <td>板ガラスの片面に型模様のあるもので、光線は通すが、視線をさえぎる。型模様のある面を室内側に使用する。</td> </tr> <tr> <td>複層ガラス (JIS R 3209:2018)</td> <td>2枚の板ガラスを用いて中空層をつくったもので、断熱・遮音^{挿入}、結露の防止に役立つ。工場生産されるので現場加工はできない。</td> </tr> <tr> <td>強化ガラス (JIS R 3206:2014)</td> <td>普通の板ガラスの3~5倍の強度があり、破損しても粒状で鋭い破片とならず、安全である。高層建築物の窓や浴室などに使用されている。</td> </tr> <tr> <td>合わせガラス (JIS R 3205:2005)</td> <td>2枚以上のガラスで合成樹脂膜をはさんで全面接着したもので、防犯や防音対策に使用される。破損しても破片の大部分が飛び散らない。</td> </tr> </tbody> </table>	種類	特徴	フロート板ガラス・磨き板ガラス (JIS R 3202:2011)	フロート板ガラス ^① は表面が製造時のままのもので、磨きガラスは両面を磨いた高級品である。可視光線をよく透過し、紫外線領域を強く吸収する。採光透視用の窓・扉などに広く使用されている。	網入板ガラス (JIS R 3204:2014)	板ガラスの中に格子などの金網をはさみ込んだもの。防火・盗難防止用に使用される。	型板ガラス (JIS R 3203:2009)	板ガラスの片面に型模様のあるもので、光線は通すが、視線をさえぎる。型模様のある面を室内側に使用する。	複層ガラス (JIS R 3209:2018)	2枚の板ガラスを用いて中空層をつくったもので、断熱・遮音 ^{挿入} 、結露の防止に役立つ。工場生産されるので現場加工はできない。	強化ガラス (JIS R 3206:2014)	普通の板ガラスの3~5倍の強度があり、破損しても粒状で鋭い破片とならず、安全である。高層建築物の窓や浴室などに使用されている。	合わせガラス (JIS R 3205:2005)	2枚以上のガラスで合成樹脂膜をはさんで全面接着したもので、防犯や防音対策に使用される。破損しても破片の大部分が飛び散らない。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>特徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フロート板ガラス・磨き板ガラス (JIS R 3202:2022)</td> <td>フロート板ガラス^①は表面が製造時のままのもので、磨きガラスは両面を磨いた高級品である。可視光線をよく透過し、紫外線領域を強く吸収する。採光透視用の窓・扉などに広く使用されている。</td> </tr> <tr> <td>網入板ガラス (JIS R 3204:2014)</td> <td>板ガラスの中に格子などの金網をはさみ込んだもの。防火・盗難防止用に使用される。</td> </tr> <tr> <td>型板ガラス (JIS R 3203:2017)</td> <td>板ガラスの片面に型模様のあるもので、光線は通すが、視線をさえぎる。型模様のある面を室内側に使用する。</td> </tr> <tr> <td>複層ガラス (JIS R 3209:2023)</td> <td>2枚以上の板ガラスを用いて中空層をつくったもので、断熱・遮音、結露の防止に役立つ。工場生産されるので現場加工はできない。</td> </tr> <tr> <td>強化ガラス (JIS R 3206:2023)</td> <td>普通の板ガラスの3~5倍の強度があり、破損しても粒状で鋭い破片とならず、安全である。高層建築物の窓や浴室などに使用されている。</td> </tr> <tr> <td>合わせガラス (JIS R 3205:2005)</td> <td>2枚以上のガラスで合成樹脂膜をはさんで全面接着したもので、防犯や防音対策に使用される。破損しても破片の大部分が飛び散らない。</td> </tr> </tbody> </table>	種類	特徴	フロート板ガラス・磨き板ガラス (JIS R 3202:2022)	フロート板ガラス ^① は表面が製造時のままのもので、磨きガラスは両面を磨いた高級品である。可視光線をよく透過し、紫外線領域を強く吸収する。採光透視用の窓・扉などに広く使用されている。	網入板ガラス (JIS R 3204:2014)	板ガラスの中に格子などの金網をはさみ込んだもの。防火・盗難防止用に使用される。	型板ガラス (JIS R 3203:2017)	板ガラスの片面に型模様のあるもので、光線は通すが、視線をさえぎる。型模様のある面を室内側に使用する。	複層ガラス (JIS R 3209:2023)	2枚以上の板ガラスを用いて中空層をつくったもので、断熱・遮音、結露の防止に役立つ。工場生産されるので現場加工はできない。	強化ガラス (JIS R 3206:2023)	普通の板ガラスの3~5倍の強度があり、破損しても粒状で鋭い破片とならず、安全である。高層建築物の窓や浴室などに使用されている。	合わせガラス (JIS R 3205:2005)	2枚以上のガラスで合成樹脂膜をはさんで全面接着したもので、防犯や防音対策に使用される。破損しても破片の大部分が飛び散らない。
種類	特徴																															
フロート板ガラス・磨き板ガラス (JIS R 3202:2011)	フロート板ガラス ^① は表面が製造時のままのもので、磨きガラスは両面を磨いた高級品である。可視光線をよく透過し、紫外線領域を強く吸収する。採光透視用の窓・扉などに広く使用されている。																															
網入板ガラス (JIS R 3204:2014)	板ガラスの中に格子などの金網をはさみ込んだもの。防火・盗難防止用に使用される。																															
型板ガラス (JIS R 3203:2009)	板ガラスの片面に型模様のあるもので、光線は通すが、視線をさえぎる。型模様のある面を室内側に使用する。																															
複層ガラス (JIS R 3209:2018)	2枚の板ガラスを用いて中空層をつくったもので、断熱・遮音 ^{挿入} 、結露の防止に役立つ。工場生産されるので現場加工はできない。																															
強化ガラス (JIS R 3206:2014)	普通の板ガラスの3~5倍の強度があり、破損しても粒状で鋭い破片とならず、安全である。高層建築物の窓や浴室などに使用されている。																															
合わせガラス (JIS R 3205:2005)	2枚以上のガラスで合成樹脂膜をはさんで全面接着したもので、防犯や防音対策に使用される。破損しても破片の大部分が飛び散らない。																															
種類	特徴																															
フロート板ガラス・磨き板ガラス (JIS R 3202:2022)	フロート板ガラス ^① は表面が製造時のままのもので、磨きガラスは両面を磨いた高級品である。可視光線をよく透過し、紫外線領域を強く吸収する。採光透視用の窓・扉などに広く使用されている。																															
網入板ガラス (JIS R 3204:2014)	板ガラスの中に格子などの金網をはさみ込んだもの。防火・盗難防止用に使用される。																															
型板ガラス (JIS R 3203:2017)	板ガラスの片面に型模様のあるもので、光線は通すが、視線をさえぎる。型模様のある面を室内側に使用する。																															
複層ガラス (JIS R 3209:2023)	2枚以上の板ガラスを用いて中空層をつくったもので、断熱・遮音、結露の防止に役立つ。工場生産されるので現場加工はできない。																															
強化ガラス (JIS R 3206:2023)	普通の板ガラスの3~5倍の強度があり、破損しても粒状で鋭い破片とならず、安全である。高層建築物の窓や浴室などに使用されている。																															
合わせガラス (JIS R 3205:2005)	2枚以上のガラスで合成樹脂膜をはさんで全面接着したもので、防犯や防音対策に使用される。破損しても破片の大部分が飛び散らない。																															
6	98	側注1	<p>① JIS A 5705:2022 参照。</p>	<p>① JIS A 5705:2023 参照。</p>																												

番号	訂正箇所		原文	訂正文																																																																																																																
	ページ	行																																																																																																																		
7	117	表1	<p>枠組壁構法に用いる製材の寸法は、表1のように<u>全部で11種である</u>。寸法型式204のものが最も多く使用されている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表1 構造用製材の寸法型式</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">寸法型式</th> <th colspan="2">未乾燥材(含水率が19%を超えるもの)の規定寸法</th> <th colspan="2">乾燥材(含水率が19%以下のもの)の規定寸法</th> </tr> <tr> <th>厚さ</th> <th>幅</th> <th>厚さ</th> <th>幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>104</td><td>20</td><td>90</td><td>19</td><td>89</td></tr> <tr><td>106</td><td>20</td><td>143</td><td>19</td><td>140</td></tr> <tr><td>203</td><td>40</td><td>65</td><td>38</td><td>64</td></tr> <tr><td>204</td><td>40</td><td>90</td><td>38</td><td>89</td></tr> <tr><td>206</td><td>40</td><td>143</td><td>38</td><td>140</td></tr> <tr><td>208</td><td>40</td><td>190</td><td>38</td><td>184</td></tr> <tr><td>210</td><td>40</td><td>241</td><td>38</td><td>235</td></tr> <tr><td>212</td><td>40</td><td>292</td><td>38</td><td>286</td></tr> <tr><td>404</td><td>90</td><td>90</td><td>89</td><td>89</td></tr> <tr><td>406</td><td>90</td><td>143</td><td>89</td><td>140</td></tr> <tr><td>408</td><td>90</td><td>190</td><td>89</td><td>184</td></tr> </tbody> </table>	寸法型式	未乾燥材(含水率が19%を超えるもの)の規定寸法		乾燥材(含水率が19%以下のもの)の規定寸法		厚さ	幅	厚さ	幅	104	20	90	19	89	106	20	143	19	140	203	40	65	38	64	204	40	90	38	89	206	40	143	38	140	208	40	190	38	184	210	40	241	38	235	212	40	292	38	286	404	90	90	89	89	406	90	143	89	140	408	90	190	89	184	<p>枠組壁構法に用いる製材の寸法は、表1のように<u>なる</u>。寸法型式204のものが最も多く使用されている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表1 寸法型式と規定寸法</caption> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="4">乾燥材の厚さ[mm] ()内は未乾燥材の厚さ</th> </tr> <tr> <th>19 (20)</th> <th>38 (40)</th> <th>64 (65)</th> <th>89 (90)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">乾燥材の幅[mm]</td> <td>64 (65)</td> <td></td> <td>203</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>89 (90)</td> <td>104</td> <td>204</td> <td>304</td> <td>404</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">()内は未乾燥材の幅</td> <td>114 (117)</td> <td></td> <td>205</td> <td></td> <td>405</td> </tr> <tr> <td>140 (143)</td> <td>106</td> <td>206</td> <td>306</td> <td>406</td> </tr> <tr> <td>184 (190)</td> <td></td> <td>208</td> <td></td> <td>408</td> </tr> <tr> <td>235 (241)</td> <td></td> <td>210</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>286 (292)</td> <td></td> <td>212</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>* 乾燥材：含水率19%以下 未乾燥材：含水率19%超 * このほか、乾燥材には寸法型式204を2枚合わせにした204W（厚さ76、幅89）がある。</p>			乾燥材の厚さ[mm] ()内は未乾燥材の厚さ				19 (20)	38 (40)	64 (65)	89 (90)	乾燥材の幅[mm]	64 (65)		203			89 (90)	104	204	304	404	()内は未乾燥材の幅	114 (117)		205		405	140 (143)	106	206	306	406	184 (190)		208		408	235 (241)		210				286 (292)		212		
寸法型式	未乾燥材(含水率が19%を超えるもの)の規定寸法		乾燥材(含水率が19%以下のもの)の規定寸法																																																																																																																	
	厚さ	幅	厚さ	幅																																																																																																																
104	20	90	19	89																																																																																																																
106	20	143	19	140																																																																																																																
203	40	65	38	64																																																																																																																
204	40	90	38	89																																																																																																																
206	40	143	38	140																																																																																																																
208	40	190	38	184																																																																																																																
210	40	241	38	235																																																																																																																
212	40	292	38	286																																																																																																																
404	90	90	89	89																																																																																																																
406	90	143	89	140																																																																																																																
408	90	190	89	184																																																																																																																
		乾燥材の厚さ[mm] ()内は未乾燥材の厚さ																																																																																																																		
		19 (20)	38 (40)	64 (65)	89 (90)																																																																																																															
乾燥材の幅[mm]	64 (65)		203																																																																																																																	
	89 (90)	104	204	304	404																																																																																																															
()内は未乾燥材の幅	114 (117)		205		405																																																																																																															
	140 (143)	106	206	306	406																																																																																																															
	184 (190)		208		408																																																																																																															
	235 (241)		210																																																																																																																	
	286 (292)		212																																																																																																																	
8	145	表13	(JIS A 5308:2019による)	(JIS A 5308:2021による)																																																																																																																
9	193	5~7	また、厚さ <u>18cm</u> 以上の耐力壁は複筋式 ^① とする。複筋式とする場合は、片側の横筋および縦筋の間隔は45cm以下とする。	また、厚さ <u>20cm</u> を超える耐力壁は複筋式 ^① とする。複筋式とする場合は、片側の横筋および縦筋の間隔は45cm以下とする。																																																																																																																

番号	訂正箇所		原文	訂正文																																																
	ページ	行																																																		
10	214	表7	<table border="1"> <thead> <tr> <th>鋼材の種類</th> <th>種類記号</th> <th>特徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築構造用圧延鋼材 JIS G 3136 : 2022</td> <td>SN</td> <td>建築物用の鋼材で、ABC の三つの性能の区分がある。A 種は溶接しない部材に適し、B 種は粘り強く、骨組に用いる。C 種は板厚方向の強さを強化したもので、板厚方向に大きな力が生じる部分に用いる。</td> </tr> <tr> <td>一般構造用圧延鋼材 JIS G 3101 : 2022</td> <td>SS</td> <td>一般構造用の圧延鋼材。</td> </tr> <tr> <td>溶接構造用圧延鋼材 JIS G 3106 : 2022</td> <td>SM</td> <td>圧延鋼材で、とくに溶接性がよいもの。</td> </tr> <tr> <td>一般構造用軽量形鋼 JIS G 3350 : 2021</td> <td>SSC</td> <td>冷間成形^②された軽量形鋼。</td> </tr> <tr> <td>一般構造用炭素鋼鋼管 JIS G 3444 : 2021</td> <td>STK</td> <td>一般構造用の円形断面の鋼管。</td> </tr> <tr> <td>一般構造用角形鋼管 JIS G 3466 : 2021</td> <td>STKR</td> <td>一般構造用の角形断面の鋼管。</td> </tr> <tr> <td>建築構造用炭素鋼鋼管 JIS G 3475 : 2021</td> <td>STKN</td> <td>建築物用の円形断面の鋼管。SN 材と同等の性能をもつ。</td> </tr> </tbody> </table>	鋼材の種類	種類記号	特徴	建築構造用圧延鋼材 JIS G 3136 : 2022	SN	建築物用の鋼材で、ABC の三つの性能の区分がある。A 種は溶接しない部材に適し、B 種は粘り強く、骨組に用いる。C 種は板厚方向の強さを強化したもので、板厚方向に大きな力が生じる部分に用いる。	一般構造用圧延鋼材 JIS G 3101 : 2022	SS	一般構造用の圧延鋼材。	溶接構造用圧延鋼材 JIS G 3106 : 2022	SM	圧延鋼材で、とくに溶接性がよいもの。	一般構造用軽量形鋼 JIS G 3350 : 2021	SSC	冷間成形 ^② された軽量形鋼。	一般構造用炭素鋼鋼管 JIS G 3444 : 2021	STK	一般構造用の円形断面の鋼管。	一般構造用角形鋼管 JIS G 3466 : 2021	STKR	一般構造用の角形断面の鋼管。	建築構造用炭素鋼鋼管 JIS G 3475 : 2021	STKN	建築物用の円形断面の鋼管。SN 材と同等の性能をもつ。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>鋼材の種類</th> <th>種類記号</th> <th>特徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築構造用圧延鋼材 JIS G 3136 : 2022</td> <td>SN</td> <td>建築物用の鋼材で、ABC の三つの性能の区分がある。A 種は溶接しない部材に適し、B 種は粘り強く、骨組に用いる。C 種は板厚方向の強さを強化したもので、板厚方向に大きな力が生じる部分に用いる。</td> </tr> <tr> <td>一般構造用圧延鋼材 JIS G 3101 : 2024</td> <td>SS</td> <td>一般構造用の圧延鋼材。</td> </tr> <tr> <td>溶接構造用圧延鋼材 JIS G 3106 : 2024</td> <td>SM</td> <td>圧延鋼材で、とくに溶接性がよいもの。</td> </tr> <tr> <td>一般構造用軽量形鋼 JIS G 3350 : 2021</td> <td>SSC</td> <td>冷間成形^②された軽量形鋼。</td> </tr> <tr> <td>一般構造用炭素鋼鋼管 JIS G 3444 : 2021</td> <td>STK</td> <td>一般構造用の円形断面の鋼管。</td> </tr> <tr> <td>一般構造用角形鋼管 JIS G 3466 : 2021</td> <td>STKR</td> <td>一般構造用の角形断面の鋼管。</td> </tr> <tr> <td>建築構造用炭素鋼鋼管 JIS G 3475 : 2021</td> <td>STKN</td> <td>建築物用の円形断面の鋼管。SN 材と同等の性能をもつ。</td> </tr> </tbody> </table>	鋼材の種類	種類記号	特徴	建築構造用圧延鋼材 JIS G 3136 : 2022	SN	建築物用の鋼材で、ABC の三つの性能の区分がある。A 種は溶接しない部材に適し、B 種は粘り強く、骨組に用いる。C 種は板厚方向の強さを強化したもので、板厚方向に大きな力が生じる部分に用いる。	一般構造用圧延鋼材 JIS G 3101 : 2024	SS	一般構造用の圧延鋼材。	溶接構造用圧延鋼材 JIS G 3106 : 2024	SM	圧延鋼材で、とくに溶接性がよいもの。	一般構造用軽量形鋼 JIS G 3350 : 2021	SSC	冷間成形 ^② された軽量形鋼。	一般構造用炭素鋼鋼管 JIS G 3444 : 2021	STK	一般構造用の円形断面の鋼管。	一般構造用角形鋼管 JIS G 3466 : 2021	STKR	一般構造用の角形断面の鋼管。	建築構造用炭素鋼鋼管 JIS G 3475 : 2021	STKN	建築物用の円形断面の鋼管。SN 材と同等の性能をもつ。
鋼材の種類	種類記号	特徴																																																		
建築構造用圧延鋼材 JIS G 3136 : 2022	SN	建築物用の鋼材で、ABC の三つの性能の区分がある。A 種は溶接しない部材に適し、B 種は粘り強く、骨組に用いる。C 種は板厚方向の強さを強化したもので、板厚方向に大きな力が生じる部分に用いる。																																																		
一般構造用圧延鋼材 JIS G 3101 : 2022	SS	一般構造用の圧延鋼材。																																																		
溶接構造用圧延鋼材 JIS G 3106 : 2022	SM	圧延鋼材で、とくに溶接性がよいもの。																																																		
一般構造用軽量形鋼 JIS G 3350 : 2021	SSC	冷間成形 ^② された軽量形鋼。																																																		
一般構造用炭素鋼鋼管 JIS G 3444 : 2021	STK	一般構造用の円形断面の鋼管。																																																		
一般構造用角形鋼管 JIS G 3466 : 2021	STKR	一般構造用の角形断面の鋼管。																																																		
建築構造用炭素鋼鋼管 JIS G 3475 : 2021	STKN	建築物用の円形断面の鋼管。SN 材と同等の性能をもつ。																																																		
鋼材の種類	種類記号	特徴																																																		
建築構造用圧延鋼材 JIS G 3136 : 2022	SN	建築物用の鋼材で、ABC の三つの性能の区分がある。A 種は溶接しない部材に適し、B 種は粘り強く、骨組に用いる。C 種は板厚方向の強さを強化したもので、板厚方向に大きな力が生じる部分に用いる。																																																		
一般構造用圧延鋼材 JIS G 3101 : 2024	SS	一般構造用の圧延鋼材。																																																		
溶接構造用圧延鋼材 JIS G 3106 : 2024	SM	圧延鋼材で、とくに溶接性がよいもの。																																																		
一般構造用軽量形鋼 JIS G 3350 : 2021	SSC	冷間成形 ^② された軽量形鋼。																																																		
一般構造用炭素鋼鋼管 JIS G 3444 : 2021	STK	一般構造用の円形断面の鋼管。																																																		
一般構造用角形鋼管 JIS G 3466 : 2021	STKR	一般構造用の角形断面の鋼管。																																																		
建築構造用炭素鋼鋼管 JIS G 3475 : 2021	STKN	建築物用の円形断面の鋼管。SN 材と同等の性能をもつ。																																																		
11	214	表8	(JIS G 3101 : 2022, G 3106 : 2022, G 3136 : 2022 より作成)	(JIS G 3101 : 2024, G 3106 : 2024, G 3136 : 2022 より作成)																																																